

# 産業廃棄物処理業務一式（埋設物の掘削・処理）の結果概要

【熊本県宇土市】

令和6年9月13日

## 1 事業の概要

熊本県宇土市の国有林野では、昭和46年に2,4,5-T系除草剤(粒剤2,055kg)を北部と南部ブロックに分けて埋設し、埋設箇所の周囲に対して、昭和60年に立入禁止の措置を講じ、以後も定期点検等を実施している。

令和6年1月より、令和4年度に実施した試料採取・成分分析により特定された掘削対象範囲と処理方法を踏まえ、埋設箇所の北部ブロックの掘削・収集運搬・無害化处理等を実施した。

作業中は掘削対象物の飛散・流出等による環境汚染防止のため、作業箇所を仮設テントで覆い、ダイオキシン類に対応した集塵機を設置した。

掘削対象物は、耐久性が高い浸透防止シートで包んでドラム缶内に封入し、処理施設へ運搬、無害化处理を行った。6月に北部ブロックの掘削対象範囲を全て掘り取った後、底面から試料を採取し、成分分析により環境基準値を下回ることを確認した。その後、分析し基準を下回る購入土壌で掘削穴を埋め戻した。

## 2 作業状況、埋設状態及び分析結果

事業箇所 作業項目	熊本県宇土市 (掘削・収集運搬・無害化处理)
作業状況写真	<p style="text-align: center;">&lt;埋設箇所の作業前の全景&gt;</p>  <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>&lt;仮設テントの組立&gt;</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>&lt;集塵機の設置&gt;</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>&lt;作業箇所の全景&gt;</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>&lt;掘削&gt;</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>&lt;埋設物の状態&gt;</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>&lt;ドラム缶封入&gt;</p>  </div> </div>

	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>&lt;ドラム缶積込&gt;</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>&lt;ドラム缶搬出&gt;</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>&lt;処理施設への搬入&gt;</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> <p>&lt;底面の試料採取&gt;</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>&lt;埋戻し・フェンス復旧&gt;</p>  </div> </div>
埋設物の有無、状態	あり。シートで包まれた固結したコンクリート。
掘削量	約 140 m <sup>3</sup>
底面土壌の ダイオキシン類の濃度	0.29pg-TEQ <sup>※</sup> /g (環境基準値：1,000pg-TEQ/g)
搬出量	ドラム缶 728 本
処理量	約 165 トン

※ TEQ とは毒性等量の意味で、毒性の強さを加味したダイオキシン量の単位。

### 3 今後の取組予定

令和4年度に実施した試料採取・成分分析により特定された掘削対象範囲と処理量を踏まえ、南部ブロックの掘削対象範囲の掘削・収集運搬・無害化処理等の実施に向けて事業を令和6年度中に発注する予定である。